

解 答

- 問1 (あ) 宮城 (い) 福岡 (う) 自由民権運動
- 問2 陸奥国と東北地方の蝦夷を治めるため。
- 問3 石碑 長い年月にわたって残すことができるから。
漢字 蝦夷に対して、朝廷の権威を示すことができるから。
- 問4 ②
- 問5 写真2 天皇が軍隊を統帥しているイメージ。
写真3 象徴天皇として、国民とともにあるイメージ。
- 問6 (1) 因佐神社の周辺にある観光地や道路などが、くわしく示されている点。
(2) 自動車で訪れた観光客が、次の目的地までのルートなどを確認するとき。
- 問7 净水場は人々に水を供給する重要な施設であるため、戦争のときに、その位置を敵国に知られないようする必要があったから。
- 問8 誠実さや熱意が伝わるように、服装や動作に気を遣っている。
- 問9 さまざまな意見があると知り、多角的に考えるようになることで、よりよい結論に至るから。
- 問10 日本人はまわりに合わせようとする意識が強く、多数意見こそが正しいと考える風潮があり、少数意見を主張し通すと排除されやすい傾向があるから。
- 問11 下位のCDでも売り上げ枚数の落ち込みが少ないので、インターネットで検索することで、近くの店舗の在庫の有無にかかわらず、簡単に入手できるようになったから。
- 問12 解答例)
インターネットでは匿名性が高いため、個人のブログにちがう意見を書きこむと、それに対して徹底的な反論や非難・中傷が行われることがある。このような反応を恐れて、ちがう意見を発言しなくなってしまう人も多い。インターネットによって多様な意見に触れていると思いがちであるが、実際は、ちがう意見を発信したり受けとったりする機会を大きく減らしているという困難さがあるから。

解 説

「メッセージの読み解き方」をテーマにした問題です。

- 問2 多賀城があったところは、すぐ近くを川が流れ、塩竈の港にも近く、交通の要所であったと考えられています。
多賀城は、陸奥国だけでなく、東北地方の蝦夷を治める役割ももつ、行政・軍事の中心でした。
- 問3 多賀城碑は、城を修理したとき、その記念として建てられたと考えられています。石碑にしたのは、後々まで石碑の内容を伝えたい、残しておきたい、という考えがあったと思われます。また、中国の文字である漢字を用いることによって、朝廷の権威を示そうとしたとも考えられます。
- 問5 戦前（大日本帝国憲法のとき）と戦後（日本国憲法のとき）の昭和天皇に対するイメージの違いを問っています。
写真2からは、馬にまたがって軍隊を率いる、軍の最高責任者のイメージが感じられます。また、写真3からは、国民とともにある天皇の姿というメッセージが伝わってきます。
- 問6 (2) 地図1には、道路名や駐車場の位置がわかりやすく示されています。これは、自動車で訪れた人が、観光地をめぐるときの利便性をめざした地図だと考えられます。
- 問7 1937年は、日中戦争が始まった年です。そこで、敵国に浄水場の位置が知られて攻撃対象とされないよう、敵の目をごまかすために「戦時改描」されたのです。飛行場などの軍事施設や、製鉄所・造船所・発電所なども、雑木林や公園などに変えられました。
- 問8 テレビは、新聞やラジオとくらべて、映像によってイメージが直接伝わります。とくに政治家がテレビで演説する場合などは、演説の内容のほかに、立ち居振る舞いや話し方、表情、服装などから伝わる印象が支持率に影響をあたえることがあります。
- 問9 少数意見に注目することによって、いろいろな見方・考え方ができるようになります。また、多数意見が必ず正しいとは限りません。ものごとを決めるときには、少数意見にも耳をかたむけ、さまざまな視点から検討を重ねることで、よりよい結論に至ることができます。
- 問11 上位をくらべると、2011年の売り上げ枚数は1991年を下回っています。しかし2011年では、下位になんでも売り上げ枚数がそれほど落ち込んでいません。インターネットで検索することで、簡単に、ときには早く入手できるため、買いたい人が買いやくなっている結果であると考えられます。
- 問12 インターネットが普及することによって生じた「困難」とは何かを、まず本文から読みとります。最後の段落で「壁」と表現されている内容について考えてみましょう。